

ホタテガイ養殖管理情報

**水温はまだ高い状況が続いているので、
掃除・玉付け・分散・へい死確認を行わないでください**

1 海況

海況自動観測ブイの15m層の半旬別平均水温の推移は図1、9月25日時点の陸奥湾中層（10～15m層）の日平均水温は図4（次ページ）のとおりで、水温は下がり始めましたが、中層以深では表層との混合によって上昇している海域もあります。

また、中層で平年よりもかなり早い7月中旬に20℃に達しており、高水温期間が長期化しています。

2 養殖施設の管理について

ホタテガイ新貝および成貝は、20℃で成長が止まり、それ以降は中腸腺（ウロ）や貝柱のエネルギーを使って生命を維持しますが、その期間が長くなると、最後は**エネルギー不足でへい死**します（図2、3）。稚貝も23℃で成長が鈍化し、同様に中腸腺や貝柱のエネルギーを使って生命を維持します。

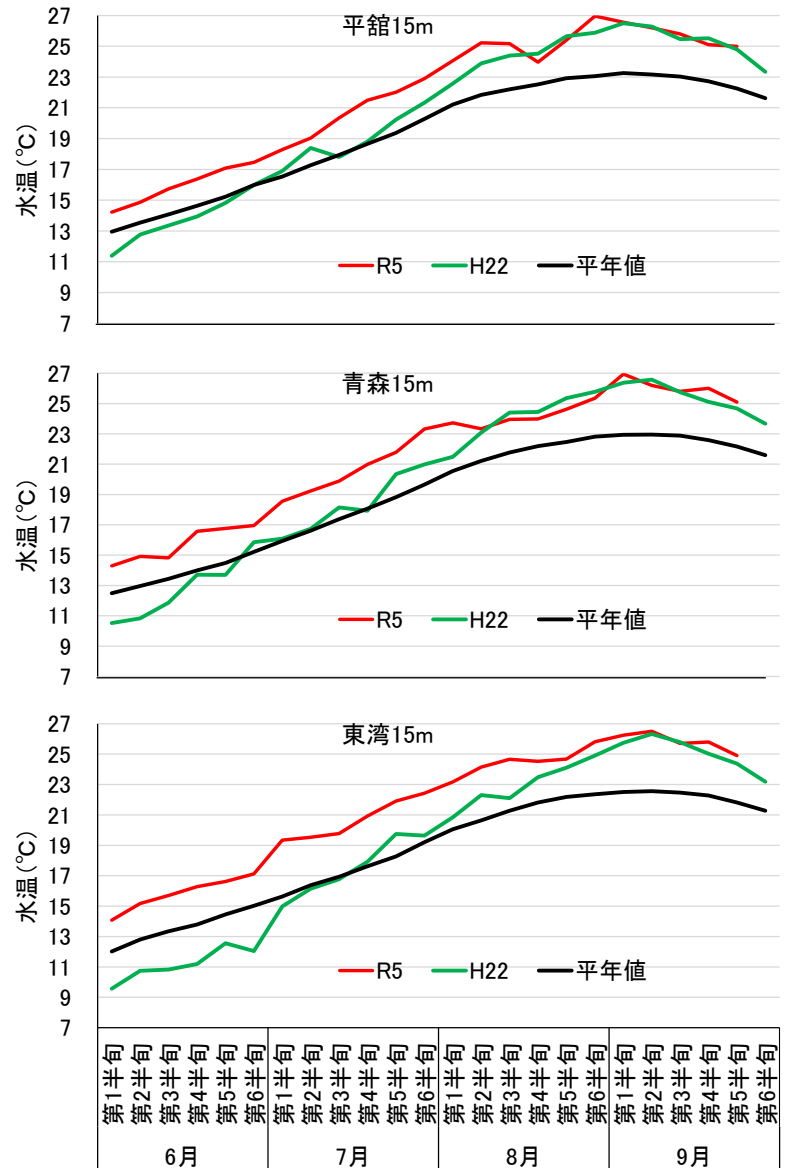


図1 海況自動観測ブイでの15m層の半旬別平均水温の推移 ※暫定値を含む

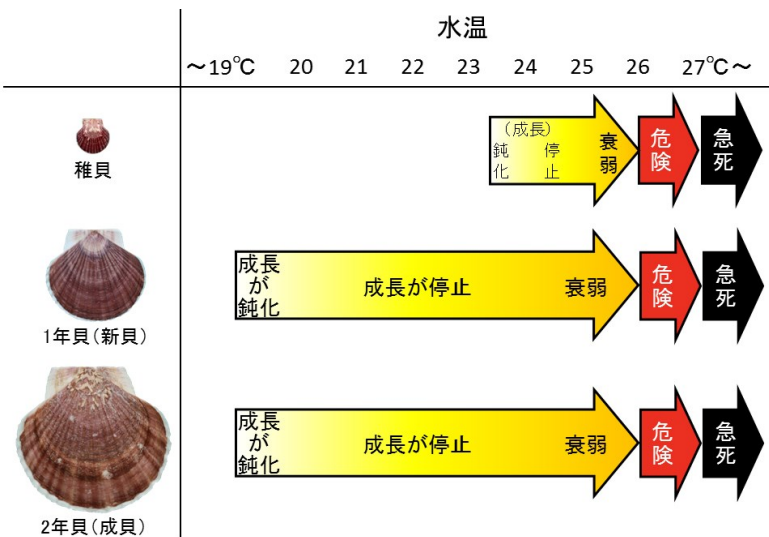


図2 貝の成長と生残率に与える水温の影響

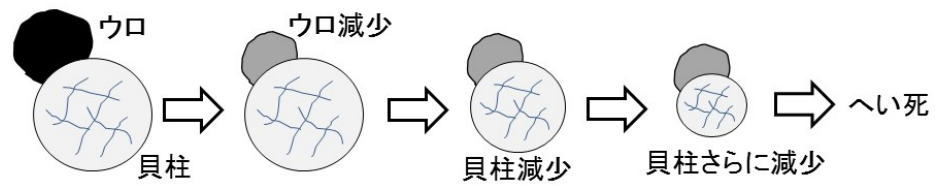


図3 高水温が続いた場合のホタテガイのへい死メカニズム

今夏の水温は、概ねかなり高めからはなはだ高めで推移しています（陸奥湾海況情報 No. 1454～1463）。**水温が高い状況が長く続いており、ホタテガイは疲弊**している状態です。そのような疲弊した状況で**施設の上げ下げを行うと、へい死率や異常貝率が高まる**傾向がありますので、施設を**水温の低い下層に沈めたまま安定させて動かさない**でください。また、体力の消耗を抑えるために、**玉付け、掃除、へい死確認などの作業は行わない**でください。

水温の状況は、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード）でご確認ください。

